

補助事業番号： 21-1-037
補助事業名： 平成 21 年度 スポーツ大会の開催 補助事業
補助事業者名： 財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

当財団は寄附行為において、スポーツの普及振興及び健康づくり活動の支援を図るため大会等を開催し、また、札幌市からの指定を受けて各種スポーツ施設及び健康づくり施設の管理運営を行なっており、その一環として第 30 回記念札幌国際スキーマラソン大会を開催することにより、国民の健康増進及びスポーツの普及振興を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

第 30 回を迎えた本大会は、国内 31 都道府県及び海外 16 カ国から 2,536 名の参加者が集い、盛会に開催することができました。

熱戦の繰り広げられたスキーマラソン 50 km・25 km、思い思いのペースで完走を目指す歩くスキー各種目など、4 歳から 90 歳の高齢者まで、幅広い年代の方々にご参加いただきました。

また、ウインタースポーツの体験の場として、スノーラフティング・チューブすべり・ミニバイアスロン体験と小・中学生限定のスプリント（短距離）レースをサブイベントとして開催し、冬季間の運動活動について提案することができました。

ア. 第 30 回記念札幌国際スキーマラソン大会開催に伴う打合せ会議の実施

大会開催にあたり、開催要項、競技規則等の協議及び関係所轄機関への協力依頼等を行った。

- (ア) 実施期日 2009 年 11 月 11 日
- (イ) 実施場所 札幌市中島体育センター
- (ウ) 実施方法 財団法人全日本・北海道・札幌スキー連盟会長 伊藤 義郎氏を委員長とする実行委員会を組織し、さらに各専門部門ごとの小委員会の委員長を選出し、それぞれに調査・会議等を実施し大会の準備・運営を行なった。

イ. 第 30 回記念札幌国際スキーマラソン大会の実施

- (ア) 主催 札幌市、(財)健康・体力づくり事業財団、(財)全日本スキー連盟、(財)札幌スキー連盟、(NPO)北海道歩くスキー協会、朝日新聞社、(財)さっぽろ健康スポーツ財団
- (イ) 開催期日 2010 年 2 月 14 日（日）
- (ウ) 開催場所 札幌市豊平区羊ヶ丘の「札幌ドーム」を会場とし、旧西岡オリンピック記念距離競技場を含む周辺。

(エ) 内 容

(i) スキーマラソン 50km

- a. 参加対象者 19歳以上で、420分以内にゴールする自信のある方。
- b. 参加者数 726名
- c. 完走者数 634名

(ii) スキーマラソン 25km

- a. 参加対象者 16歳または高校生以上で、270分以内にゴールする自信のある方。
- b. 参加者数 654名
- c. 完走者数 620名

(iii) 歩くスキー10km

- a. 参加対象者 年齢制限なく、制限時間なし。
- b. 参加者数 593名
- c. 完走者数 549名

(iv) 歩くスキー5km

- a. 参加対象者 年齢制限なく、制限時間なし。
- b. 参加者数 404名
- c. 完走者数 393名

(v) 歩くスキー3km

- a. 参加対象者 年齢制限なく、制限時間なし。
- b. 参加者数 159名
- c. 完走者数 141名

2. 予想される事業実施効果

全国から大勢の人々が集うとともに、海外16カ国からも88名の参加があり、クロスカントリースキーを通じた交流を深めることができ、国民の心身の健全な育成に寄与することができた。

今後予想される効果として、冬季間における国民の健康維持を図るとともに、本大会を通じより一層の国際親善が期待できる。

3. 本事業により作成した印刷物等

- (1) ポスター (B3) 2,200枚作成
- (2) ポスター (B2) 700枚作成
- (3) 募集要項 40,000部作成
- (4) プログラム (B5) 3,800部作成
- (5) スキーマーキングシール 2,800枚作成

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団

(サッポロケンコウスportsザイダン)

住所： 064-0931

札幌市中央区中島公園1番5号 札幌市中島体育センター内

代表者： 理事長 波田 正明 (ナミタ マサアキ)

担当部署： 事業課事業係 (ジギョウカジギョウカカリ)

担当者名： 坂 知明 (サカ トモアキ)

電話番号： 011-530-5562

F A X： 011-530-5551

E-mail： t-saka@shsf.jp

U R L： <http://www.shsf.jp/>